

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (小寺三木三)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 1.0 億円
		急傾斜地崩壊対策事業 しもかげ <下陰(2)地区>	豊岡市 下陰		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
豊岡市 下陰				H14年度	H17年度

事業目的	事業内容
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の人命を保護する。	急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 擁壁工 L = 240 m H = 4 m

評価視点	
(1)必要性 安全・安心 快適性・ゆとり その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全対象に人家戸数32戸、及び市道(下陰森津線)がある。 ・ 斜面上部には肌落ちがあり、風化キレツの進行した岩盤であるため斜面は不安定な状態であり、崩壊の危険性は高い。 ・ 豊岡盆地を縁取る緑の自然は、地域の豊かな景観を構成する物であり、保全効果は高い。 ・ 人家裏の斜面には多数崩壊跡があるなど、斜面崩壊に対する住民の不安は大きい。 ・ 山村振興地域に指定されており、当事業による生活環境の改善効果は高い。
(2)有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全人家32戸と多くまた、市道等があり事業効果が高い。 ・ 事業実施に向け、地元要望があり、法指定や借地の同意が得られる見込みがある。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 擁壁工は化粧型枠の採用を検討し、自然になじんだ雰囲気にする。 ・ 斜面裾部を固定することにより、農村部の良好な緑の斜面を保全できる。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斜面裾には過去の崩壊跡が多数みられ、今後崩壊の拡大や新たな崩壊の危険性が高い。 ・ 地元合意形成が図られ、事業執行環境は整っている。

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------	------	------	---------------------